

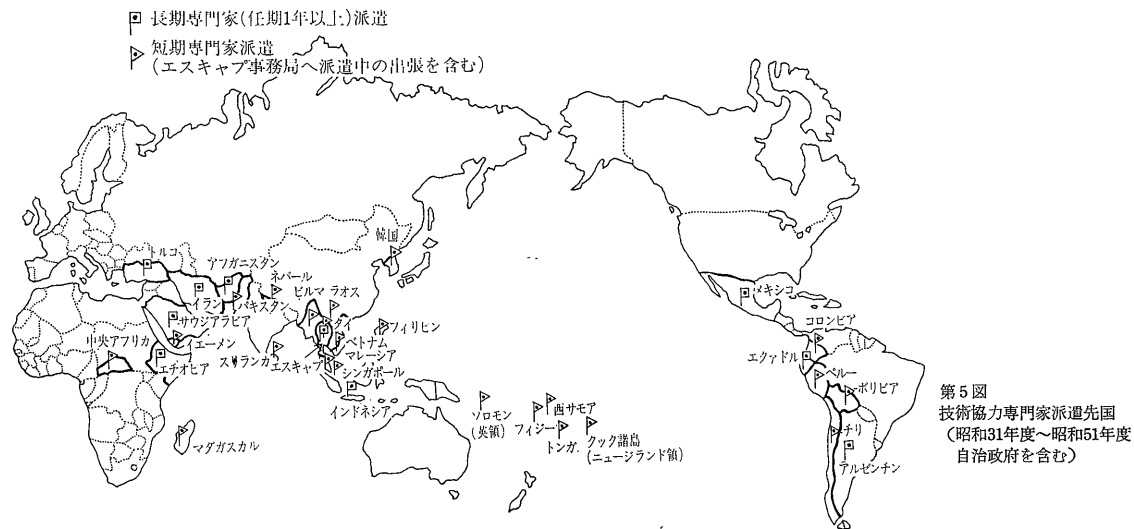
3名の専門家(うち1名は 行政部局の職員として 前述の集計には含まれていない)が ESCAP 事務局に派遣されて 関係国際会議に出席し 域内諸国を訪問し 地質および鉱物資源に関する計画の策定や実施に貢献するとともに 当所の技術協力活動に必要な資料を提供している。

おわりに

この21年間の技術協力専門家の派遣実績をふりかえってみると 派遣先国政府からの招へいによる「傭い外人専門家」としての派遣から出発して 次第に発展途上国の政府機関に対する基礎的・一般的な技術指導に重点がうつりつつあることがうかがわれる。この間に ITIT プロジェクトが発足して 自主的な海外地質研究が小規模ながら開始された。このような変化の背景には 発

展途上国の科学技術レベルの向上 資金・商品援助の一部としての技術協力から 技術移転による発展途上国での技術能力の育成の重要性の認識への変化 とくに鉱物資源開発において 先進国の資源確保のための技術協力から 天然資源に関する恒久主権の概念の確立を経て 発展途上国の経済・社会発展のための技術協力への変化あるいは わが国において 民間コンサルタント等の技術協力への参加の増大などが あると思われる。

技術協力専門家の派遣は 原則として 先方の要請によって行なわれ かならずしも 計画的・組織的に実施されていない。しかし 派遣実績を検計すると 結果的にしろ いくつかの国に対する協力が長期的・継続的に実施された。今後 20年以上にわたる派遣実績 派遣専門家の果した成果やもたらす情報をふまえて 当所の技術協力を発展させなければならないと考える。



第5図 技術協力専門家派遣先国 (昭和31年度～昭和51年度 自治政府を含む)

・三 鉱 学 会

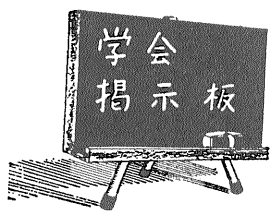
1. 昭和52年10月12日(水) 13日(木)
見学旅行 10月14日 (金) 15日(土)
2. 三鉱学会昭和52年度秋期連合学術講演会
3. 新潟大学教養部 新潟市五十嵐二の町8050
4. 日本岩鉱学会・日本鉱

3. プレスセンターホール 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンター
4. 日本地下水学会ほか5学会
5. 東京都新宿区四谷1丁目 (社)土木学会内 水資源に関するシンポジウム事務局 ☎(03) 355-3441

・日本地球化学会

1. 昭和52年10月20日(木) ~ 22日(土)
2. 1977年日本地球化学会年会
3. 東京大学理学部化学教室新館
4. 日本地球化学会
5. ☎ 106 東京都港区六本木 7-22-1 東京大学物性研究所(424B室) 1977年度地球化学会年会実行委員会 ☎(03) 402-6231 内線 629, 630

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者 5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)



山地質学会・日本鉱物学会
5. ☎950-21 新潟市五十嵐二の町8050 新潟大学理学部 島津光夫 ☎(0252) 62-6187, 6197

・日本地下水学会

1. 昭和52年10月25日(火)~28日(金)
2. 水資源に関するシンポジウム